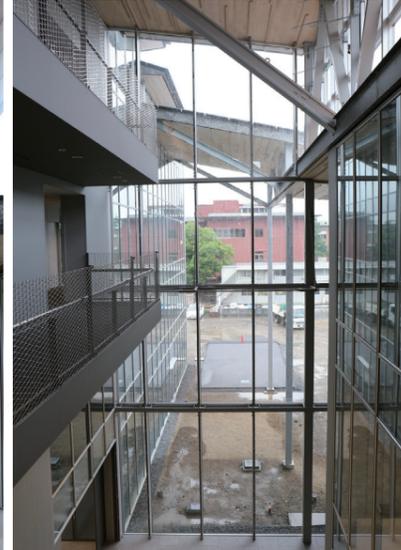




施設全体を包み込むように大屋根を掛け、分節した屋根の隙間から室内に光や空気を取り込み、光庭に水を集め、低く伸びた軒先には直射を遮り風が抜ける。それぞれの屋根は重なり合いながら様々な役割を果たして新しい環境を生み出します。



京都府立総合資料館 新総合資料館（仮称）新築工事

施主	京都府
設計・監理	飯田善彦建築工房
施工	竹中工務店・増田組・あめりか屋共同企業体
所在地	京都府京都市左京区下鴨半木町 1-5
竣工	2016年8月
規模	地上4階 地下2階
構造	S造

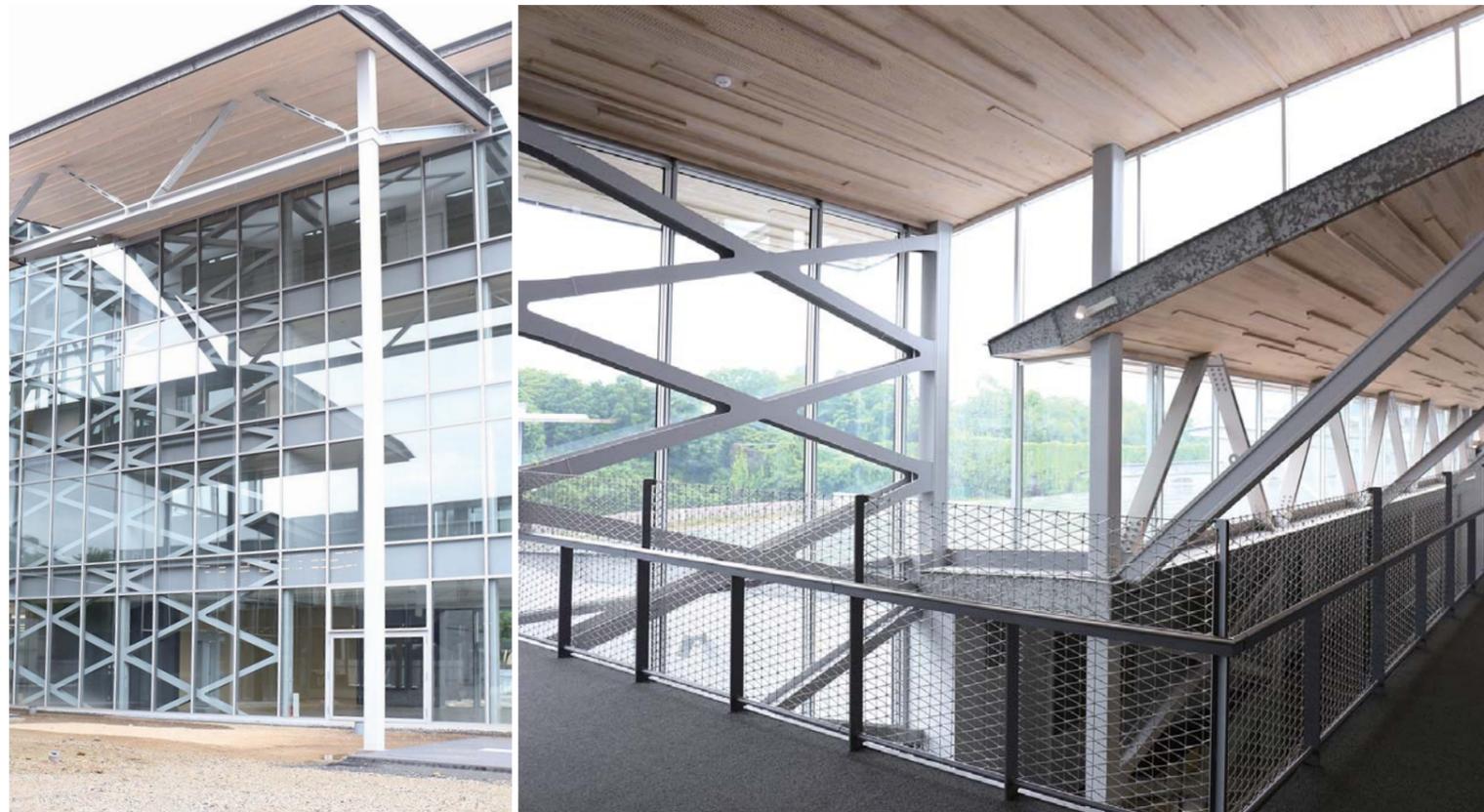
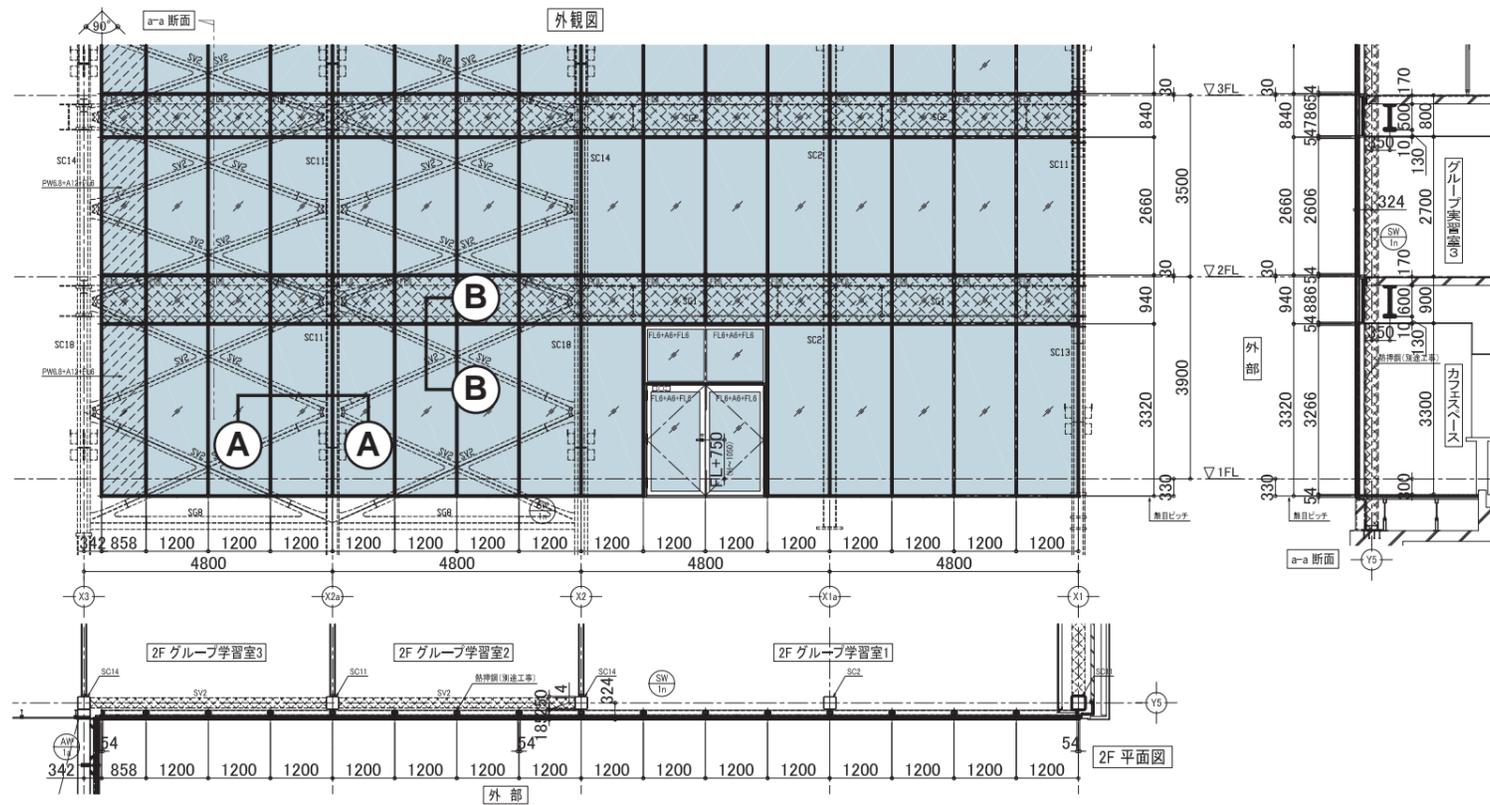


株式会社 LIXIL ビル事業部 エンジニアリング営業部

Link to Good Living

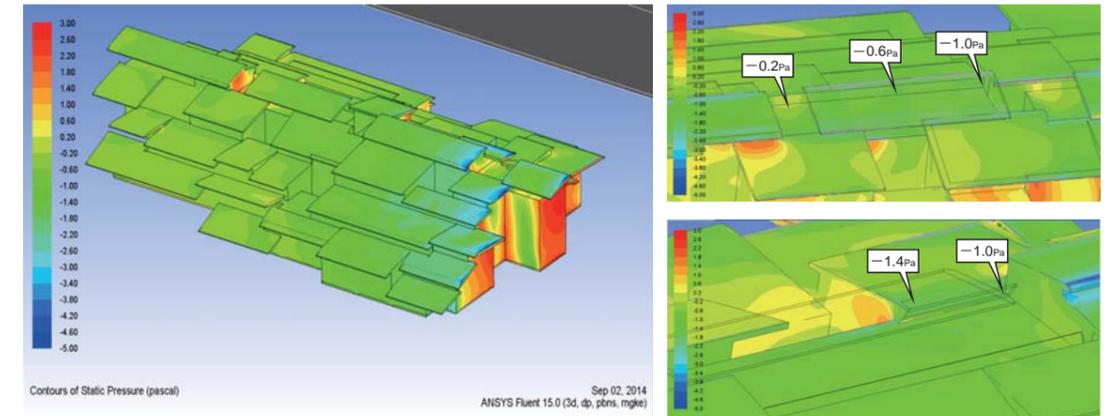
私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する「住まいと暮らしの総合住生活企業」です。

Project : 16905_01A

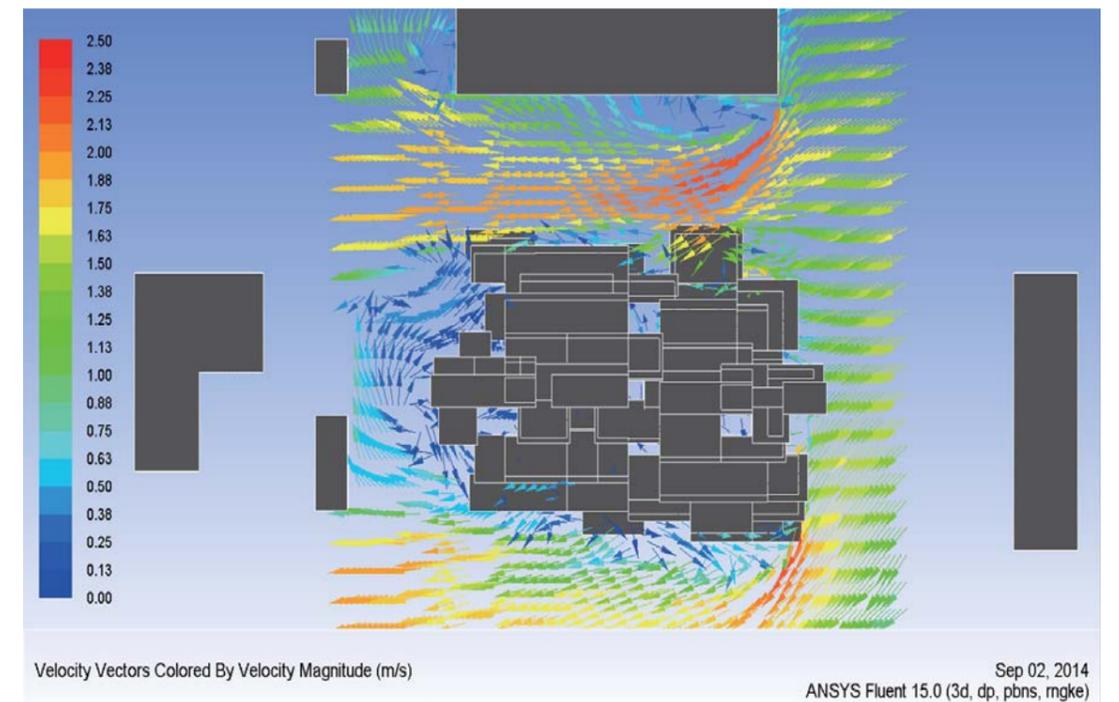


CFD 解析 | 風向きによる圧力分布図

CFD 解析により、屋根と屋根の間にある窓は常に負圧となることを確認し、室内の熱気を排出する制御システムにより、空調負荷削減を実現しています。

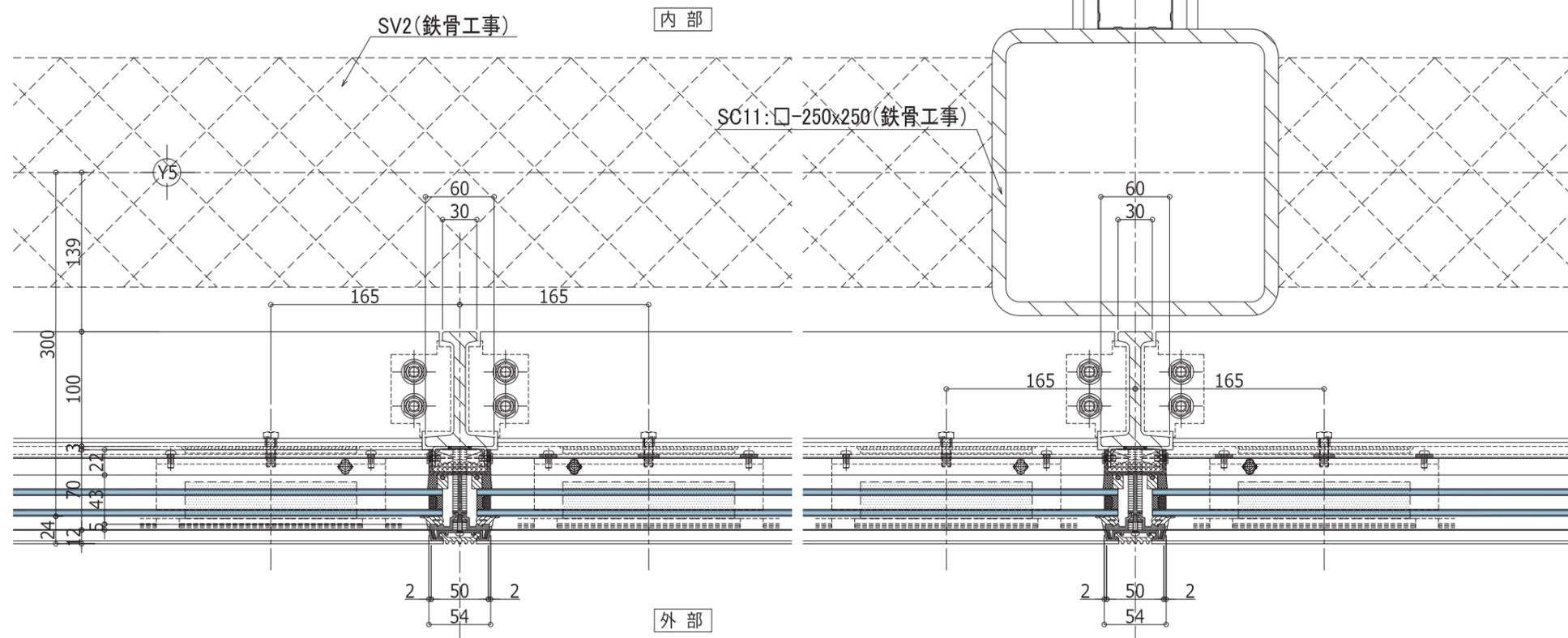


CFD 解析 | 風向きによる風速ベクトル図

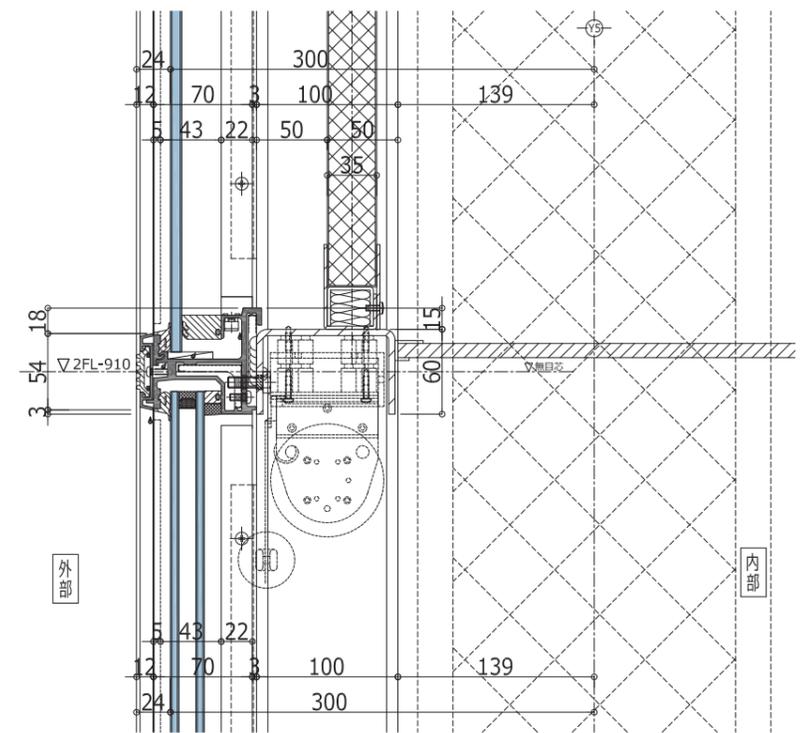


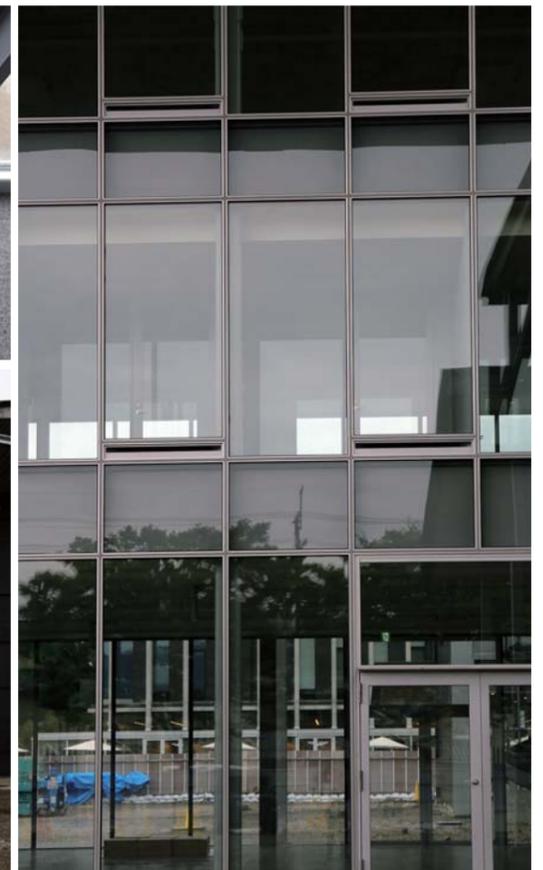
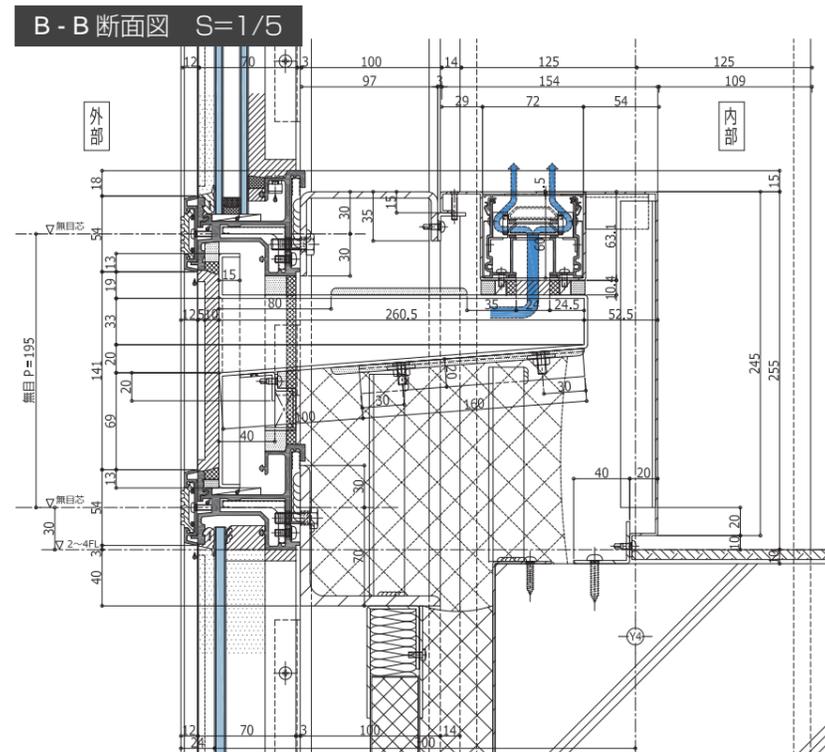
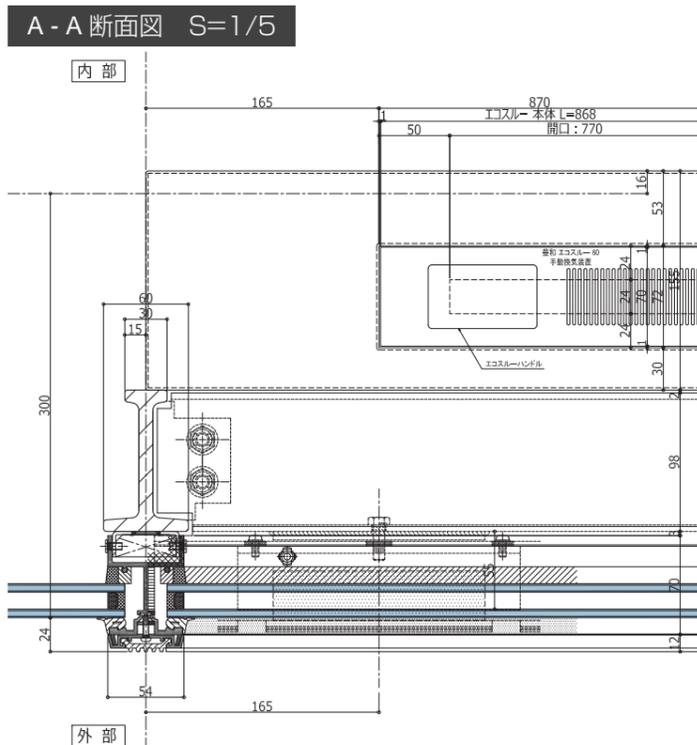
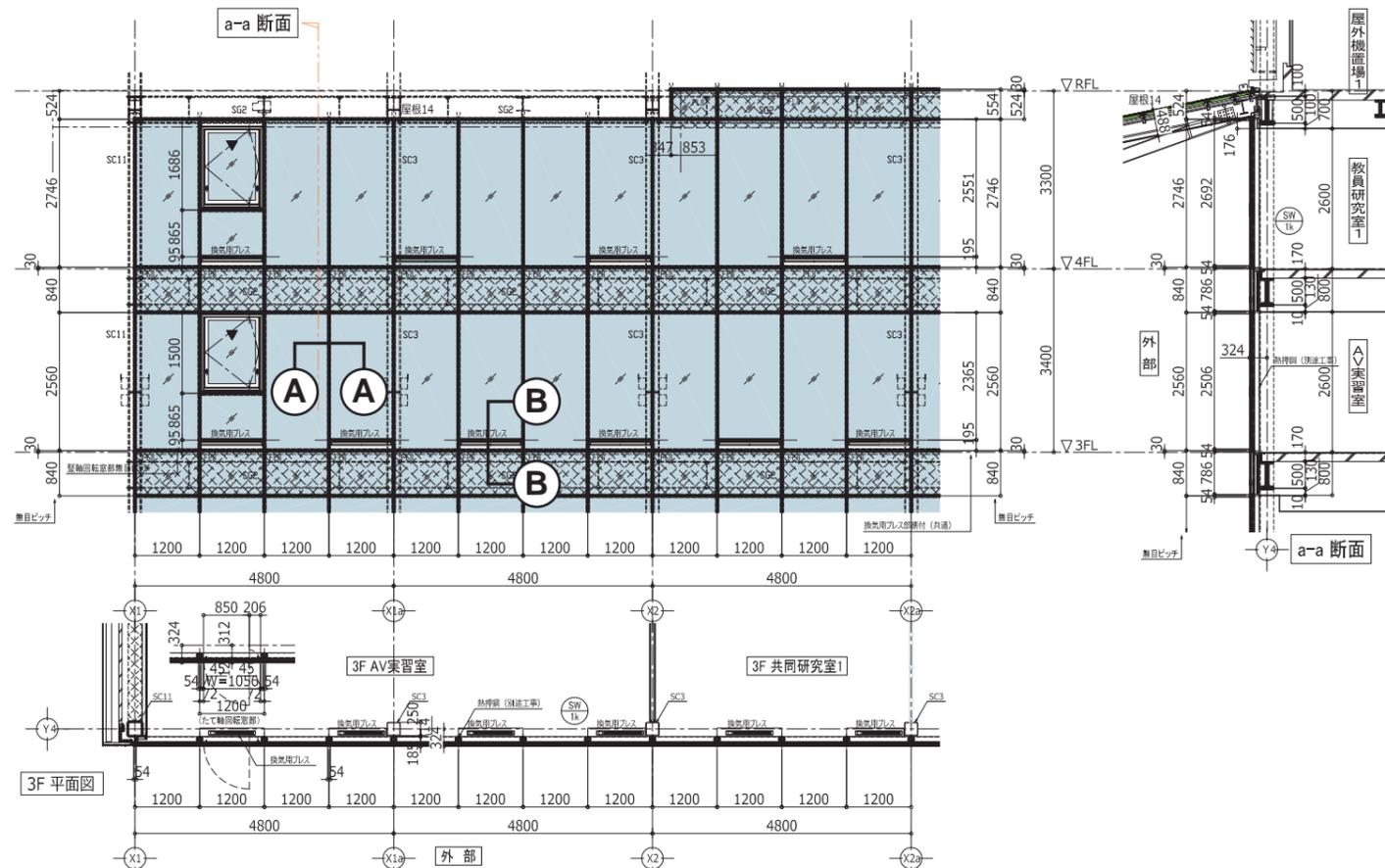


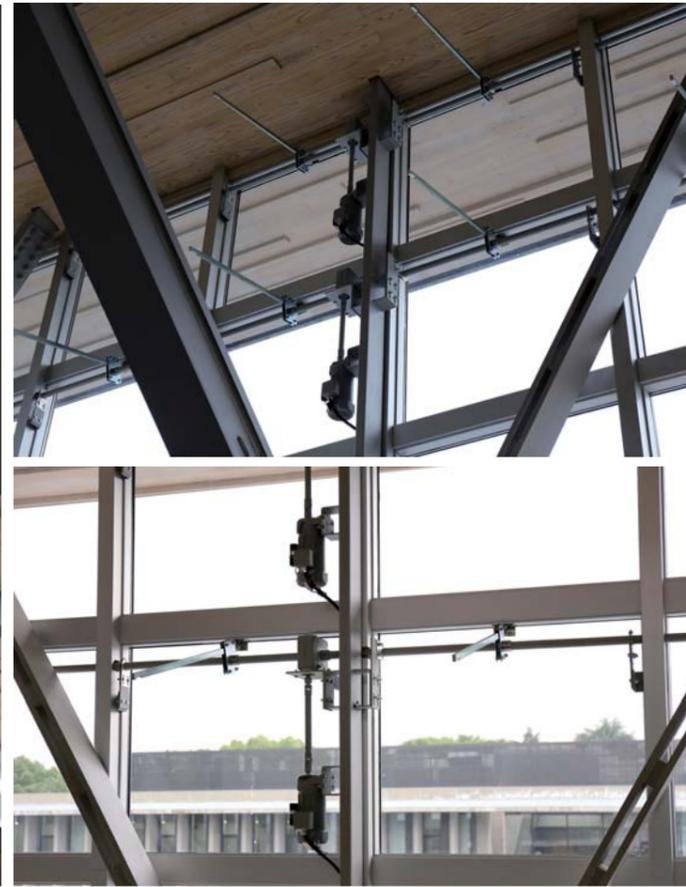
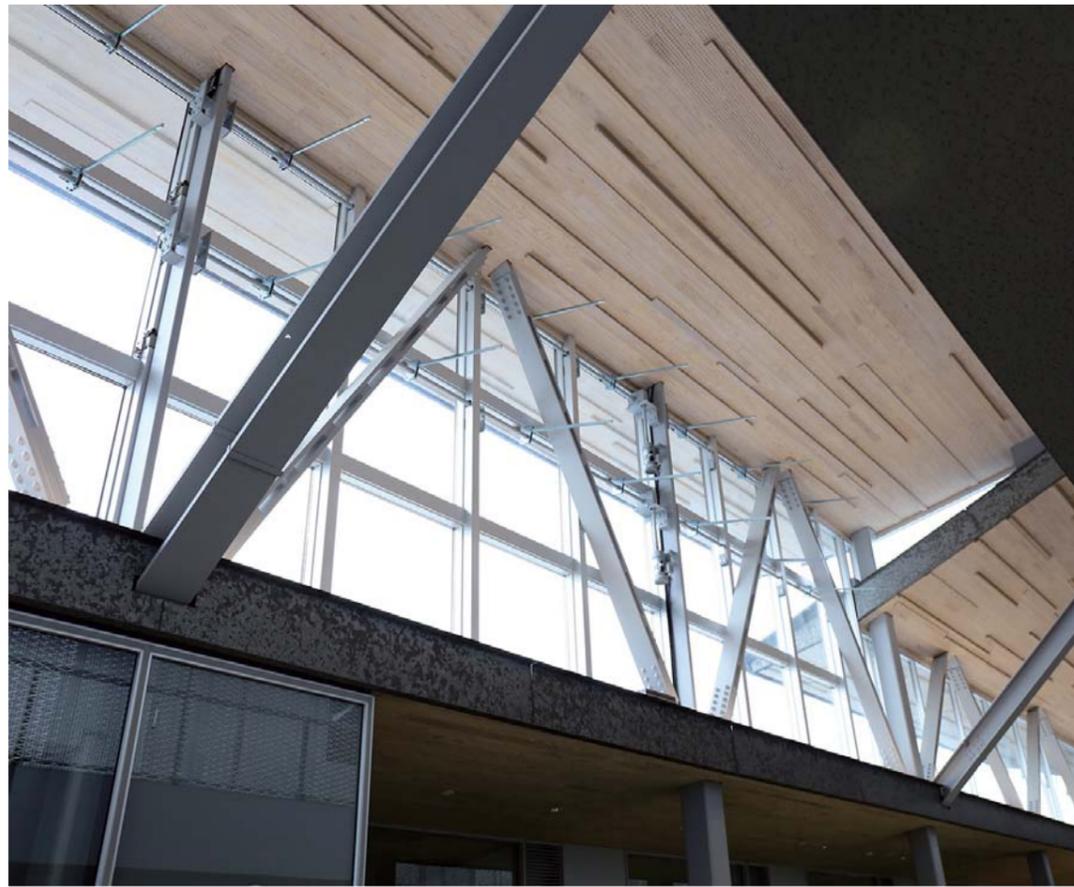
A - A 断面図 S=1/5



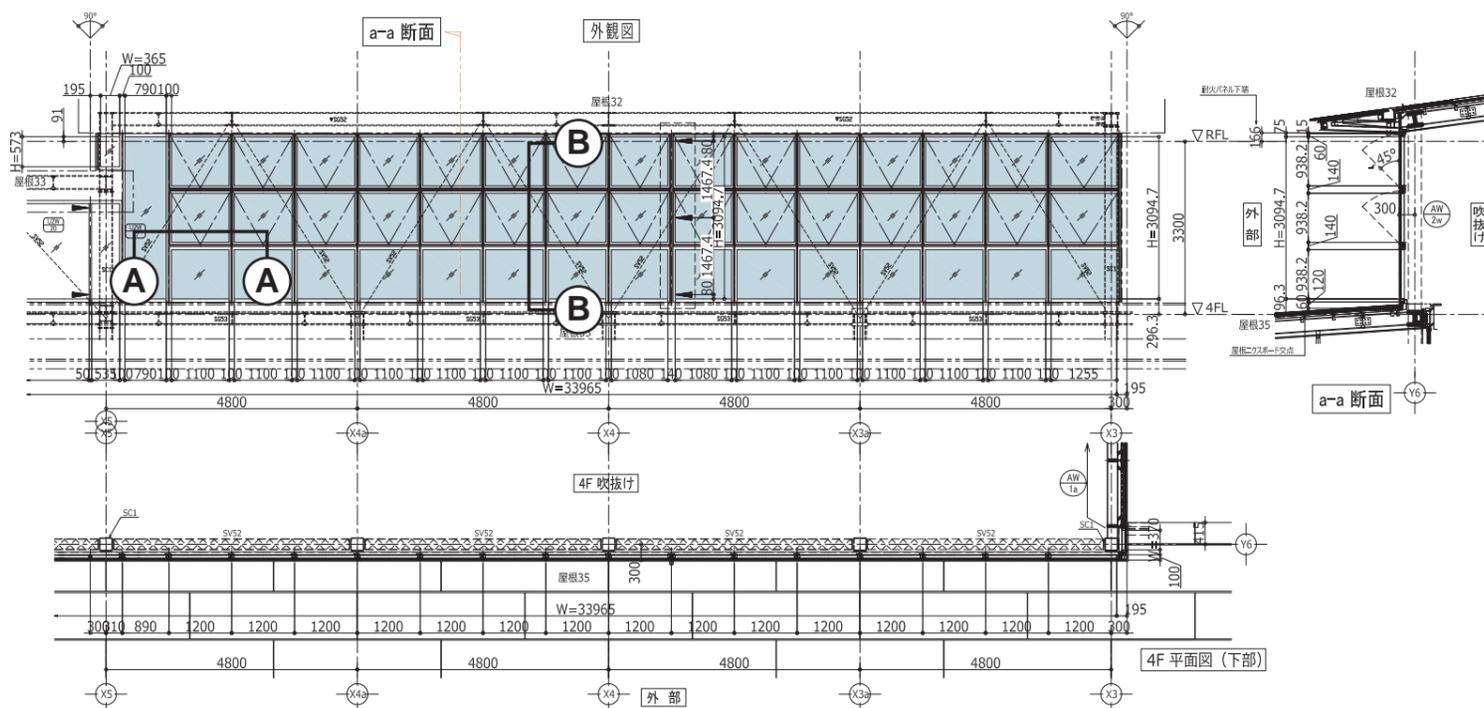
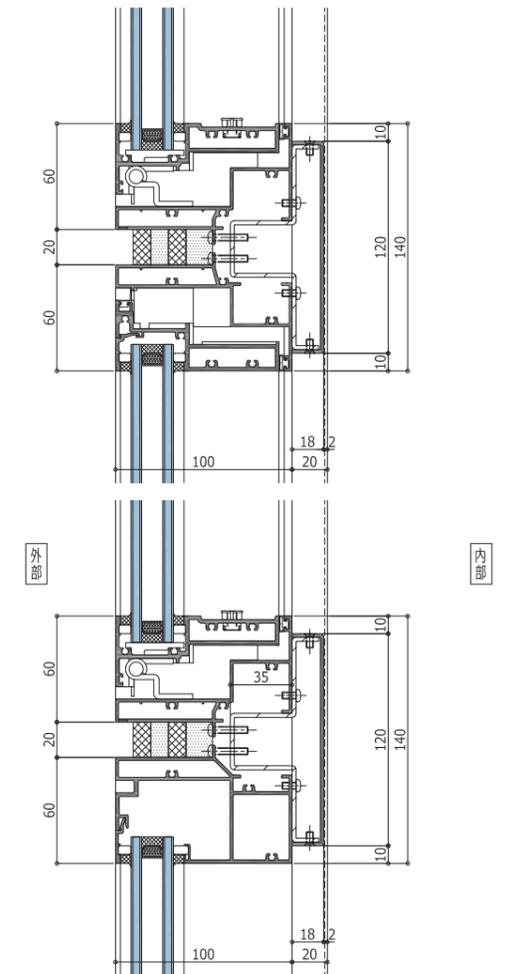
B - B 断面図 S=1/5







B - B 断面図 S=1/4



A - A 断面図 S=1/4

